



ふくしま再生の会

表題写真/左：事故前（飯舘村役場提供） 右：現在

ごあいさつ

福島代表 副理事長 **菅野宗夫**

飯舘村は今、フレコンバックの山が積み上がり復興の難しさを目の当たりにする状況が日常となっています。私たちは6年の避難生活をしいられ、コミュニティも困難な状況を抱えています。村に戻り一歩踏み出して頑張っていこうという人も、帰村できない事情を抱え悩んでいる人も数多くいます。考え方はさまざまですが、どれも間違いではないと思います。避難指示解除になった後、新たな闘いが始まると思っています。そんな中で「ふくしま再生の会」は村内外の人が知恵を出し合い、自然と共生する生活と生業の再生に取り組んでいます。明るく前向きなメッセージが発信できる飯舘村にして行きたいと思っています。



ごあいさつ

副理事長 **溝口勝**

今回の原子力災害では科学技術に対する信用が失墜しました。そんな状況の中、大学としてできることは何かと思い、「福島復興農業工学会議」というグループを立ち上げ、他大学を巻き込みながら「ふくしま再生の会」と一緒に活動しています。また、農学部教職員有志による「サークルまでい」が飯舘村で採取された土壌や植物等の試料を測定容器に詰め込む作業を担い、農学部内の施設で放射性セシウムを測定し、そのデータを再生の会に提供しています。大学の大切な使命は人材育成です。私たちは熱いハートとクールな姿勢を備え住民に寄り添うことのできる人材育成のために現場重視の教育活動を続けております。（東京大学農学生命科学研究科教授）



再生への道 — 共感と協働

ふくしま再生の会について

理事長 **田尾陽一**

ふくしま再生の会は、福島第一原発事故後2011年6月以来、福島県飯舘村で活動を続けてきました。私たちは村民・ボランティア・専門家の協働により、放射能・放射線の測定、各種の除染実験を継続し、帰村後の生活と産業の再生の総合的な試みに取り組んでいます。そこで見出された正確な状況把握・事実分析の上に、多くの課題の解決策を創らなければなりません。支援・被支援、村民・村外ボランティア・専門家・行政などの立場の違いや心の「分断」を乗り越えて、「自然と人間の共生関係の再生」こそ、私たちの共通の目標です。「真の文明は山を荒さず川を荒さず村を破らず人を殺さざるべし」（明治45年田中正造翁）



2011年6月6日初めて飯舘村の菅野宗夫さん宅を訪問した18名。この日、メンバーのなかから田尾陽一、大永貴規（衛生工学・地域プランナー）、三吉譲（精神科医）が発起人になって菅野宗夫さんに協力する「ふくしま再生の会」を結成することを決定した。

ふくしま再生の会は、未曾有の災禍を目の当たりにした会員一人ひとりが、何ができるのかを考えながら活動しています。経験や知識を活かしながら、それだけでは乗り越えられない課題に対して、試行錯誤を繰り返してきました。様々な活動を通じて多様な人々と機関とのネットワークを広げ、専門や立場を超えて原発事故の被害から「再生への道」を目指しています。心を寄せながら一緒に活動する「共感と協働」をモットーにしています。

自立した個人ボランティア
多様な層の参加による活力
ネットワーク
広い視野

大学・研究機関

専門知識・技術

専門を超えた協働

村民
(いたて協働社)

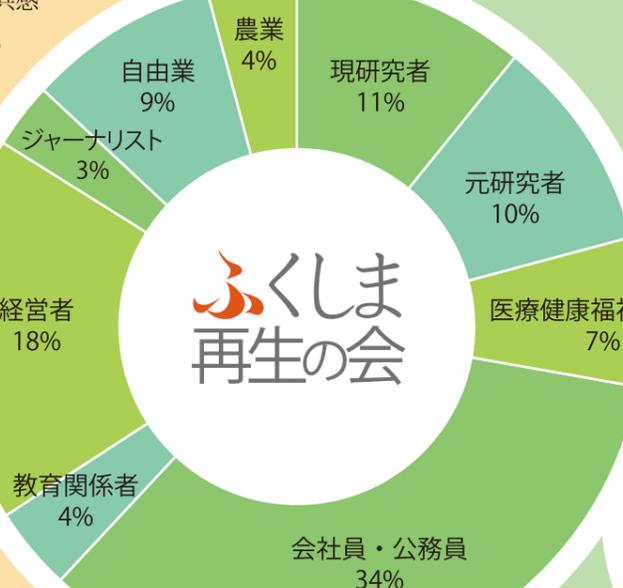
自立再生への力

経験・知識・技術

伝統・文化・知恵

分断を乗り越える協働

ふくしま再生の会



協力関係機関

- 飯舘村役場
- 東京大学福島復興農業工学会議
- 東京大学アグリコケーン
- 高エネルギー加速器研究機構
- 国立環境研究所
- 明治大学農学部
- いたて協働社
- 飯舘電力
- 都市農村交流推進センター

財務基盤

- 自主財源：会費・寄付・遺贈
- 助成金：三井物産環境基金
- 受託事業：飯舘村役場・東京大学

職業経験(専門知識・技術)

柔軟な対応

きめ細かいケア

行政
(国・県・村)

公共サービス

縦割り・横割りの克服

認定NPO法人 ふくしま再生の会

【東京事務所】

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 1-3-6-2F1
電話 03-6265-5850
FAX 03-6265-5859
Mail: desk@fukushima-saisei.jp
HP: <http://www.fukushima-saisei.jp/>

【飯舘事務所】

〒960-1815 福島県相馬郡飯舘村佐須字滑 87

【福島事務所】

〒960-8042 福島県福島市荒町 4-7
福島県再生可能エネルギー合同ビル

【霊山センター】

〒960-0807 福島県伊達市霊山町石田字彦平 1-18



ふくしま再生の会飯舘事務所（菅野宗夫宅内）

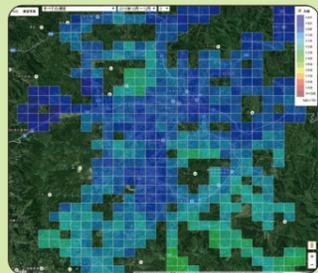
現在の活動

基本的活動

モニタリング

専用車路上測定
徒歩測定
定点モニタ
エアロゾル
居宅・周辺測定
個人線量測定

《会員の一言》空間線量だけでなく、個人線量を生活行動と併せて把握し、被ばく低減のための知恵を絞っていきたく考えています。(佐野)



放射能分析

土壌
農作物
山野草コケ
樹木
大気など

《会員の一言》飯舘村から届いた動植物・土壌の放射能測定のために、試料を測定容器に詰める作業のボランティアをしています。(齋藤)



発展的活動



米・酒米栽培
ハウス栽培
田畑の継続除染



《会員の一言》土壌の汚染を低減させる試みと併せて、安心して食べられるクリーン野菜のハウス栽培に取り組んでいます。(大永)



山林再生



木材利用
イグネ除染
木材・ほだ木の放射能測定



《会員の一言》山林の恵みを生活の手元に取り戻したい。住民の方々の知恵をもらいながら一緒に、色々な試みを実行していきます。(小原)



健康医療ケア

仮設住宅訪問
村内個別訪問

健康チェック
食事指導
マッサージなど

《会員の一言》長い仮設住宅での暮らし、帰村してからの不安、村を離れる心細さ。定期的な訪問で、皆さんに寄り添っていきます。(八木)



体験ツアー



農業・農村生活体験ツアー
団体・学生・研究者の村内ツアー

《会員の一言》多くの人が村の方と出会い、厳しい現実とともに飯舘の良さを見て知って考えてもらいたい。(二宮)



農業再生

最新の活動

農業再生

地力再生
牧草地再生
農作物の販路開拓

営農再開に向けて、地力回復、特産品の開発や販路開拓を村の方と協働で行います。村の方の農業経験を、都会人に農業体験として提供する事業に取り組めます。

山林再生

山林資源の利用
炭焼きの再生

山林の再生を目指します。材木や熱資源としての利用法を研究し、村の生活を支える資源として再び利用できる方法の開発に取り組めます。

村内拠点づくり

コミュニティ活動支援
個人線量測定
現地放射能測定機能

帰村後は、地区住民同士の助け合いが今までも必要になります。それに加えて今は村に帰らないという方々との寄合、放射性物質への取り組みのための専門家やボランティアとの意見交換や個人線量の確認、健康医療ケアの場として利用できる拠点が必要です。帰村される方々と協働して取り組めます。

地区住民
帰村者
将来帰村者
他地区住民

協働農場・花づくり
山菜取り
農産物の加工品づくり
凍み豆腐・味噌
炭焼き
植樹
健康相談
被ばくチェック
農家民宿経営
郷土芸能の復活
舞・囲碁・将棋

コミュニティ活動

健康相談

生産・販売

農業・農村体験

学習

線量測定

支援者・訪問者

若年世代
中高年ボランティア
外国人

農業体験
山菜取り体験
料理加工品づくり教室
農園オーナー
炭焼き体験
植樹体験
健康見守り支援
被ばくチェック支援
農家宿泊・学生宿舎
寺子屋・熟年塾
パソコン教室

アーカイブ

私たちの活動記録や放射線・放射能の測定結果を活用し、村民や社会に提供し、未来に伝達します。活動の統合記録システムを創り保存します。

活動を支えるために

【会員になる】 ●個人会員／年会費：10,000円
(総会での決議権があります)

●個人賛助会員／年会費：5,000円
・他に団体会員もあります

【寄付をする】 ●一口3000円(何口でも)

ホームページ <http://www.fukushima-saisei.jp> の「寄付・入会申し込みフォーム」に必要事項を入力し、右記の口座に寄付金・会費をお振込みください。入金確認後に事務局より領収書をお送りします。
*寄付金・賛助会費は税金の控除が受けられます。

【振込先】

●名義：特定非営利活動法人 福島再生の会

●銀行口座

三井住友銀行 白山支店(店番 228) 普通預金：6840260

ゆうちょ銀行 店名：〇一八(ゼロイチハチ) 普通預金：4673305

●郵便局

口座番号 10190-46733051

口座番号 00160-5-386077

*恐縮ですが、振込み手数料はご負担ください

これからの課題

